

<h1>潮 陵</h1>	学校だより 第 8 号	教育目標
	平成 27 年 12 月 22 日	『ふかく考え、豊かな心を養い、たくましく実践する生徒』
	上越市立潮陵中学校	目指す生徒の姿 『ひとみを輝かせ、たくましく実践を積み重ねる生徒』

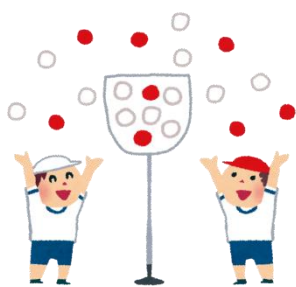
更なる成長と飛躍に向けて

2 学期の授業日数は 78 日と 3 学期の中では最も長い学期でしたが、日数の長さ以上に内容の充実度が光った 2 学期だったと言えます。まず、行事面では、初の試みで地域の方々や小学生を巻き込んだ 9 月 5 日の体育祭が大いに盛り上がりました。3 年生を中心とした軍のまとまり、小学生との合同競技、応援合戦等、どれをとっても素晴らしい出来でした。また、10 月 24 日に開催された小中合同文化祭も印象に残る行事となりました。午前中の学習成果発表はどの発表からも長い時間をかけて完成させた努力の跡が感じられ、それが聴衆の心を捉えたのだと思います。中学生による合唱とそれに続く小中全員合唱は、間違いなく会場全体を感動の渦に包み込んでくれました。午後の体験活動も地域色を前面に出した得難い経験になったと思います。私自身が初めて経験した伝統行事である鮭の捕獲・加工体験は、予想を遙かに超えた内容の深さと教育的意義をもっていると感じました。このように、主な行事だけを振り返ってみても本当に実り多い 2 学期だったことが分かります。また、学習面をみても全ての学年の家庭学習時間が 1 学期よりも伸びてきており、学習に対する意識や姿勢が着実に向上してきています。これら以外にも、各種のコンクールや大会等で立派な成績を残してくれたことも記憶に新しいところです。

こうした生徒が活躍できる環境が整っている最も大きな要因として、長年に渡って積み重ねられてきた小中連携が基盤にあることが挙げられます。小中連携の伝統を大切にしつつ、今後は小中連携から小中一貫教育にステージを一段上げて取組を進めていきたいと考えています。更に保育園も隣接していることから、幼保、小、中という義務教育終了までの 15 年間をどのように接続させて、子どものもつ力を最大限伸ばしていけるかを考えていくことが大切です。その手始めとして、11 月 4 日には初めて小中合同の学校運営協議会をもたせていただきました。協議会では、小中一貫教育のグランドデザインについて小中の校長から提案をさせていただき、委員の方々からは小中一貫教育の推進に向けて貴重な意見をいただきました。グランドデザインについては、後日学校便りで詳しくお知らせしたいと考えていますが、ここではグランドデザインの中で示しためざす子ども像についてご紹介します。めざす子ども像については、小中全職員が考えや意見を出し合い、子どもや地域の実態等も踏まえて設定した

たものです。下記に示した 5 つの子ども像を子どもの成長に関わる全ての人々が意識し、共有することから一貫教育がスタートすると考えています。

(文責：松縄)



中学校区におけるめざす子ども像

- ①基礎・基本を身に付け、深く考える子ども
- ②きまりと約束を守る子ども
- ③自分のよさを見つける子ども
- ④相手を大切にする子ども
- ⑤自分から粘り強く取り組む子ども

